

2019年9月28日に河合塾神戸三宮校にて「ビジネスで社会課題を解決する！」を開催しました。

■ 報告

将来グローバルに活躍したい中高生向けに、社会貢献や国際協力に興味を持つだけでなく、具体的な施策を考えながら将来へのイメージや興味を“さらに”深めてもらうことを目的といたしました。ゲストの曾我弘氏から、アップルの創業者、故スティーブ・ジョブズ氏から惚れこまれ、自社開発のテクノロジーを売却するに至るまでのエピソード「意思決定のスピード」「考えるだけじゃなく、とりあえずやってみる。正解は分からないから、とことん修正する」といったメッセージをいただきました。

ワークショップでは、チームにおけるメンバーの役割と責任を学び、「社会課題と解決策」を議論しました。参加者から、自由な発想を膨らませた発表が行われました。

課題：幼児の死亡件数を減らしたい。

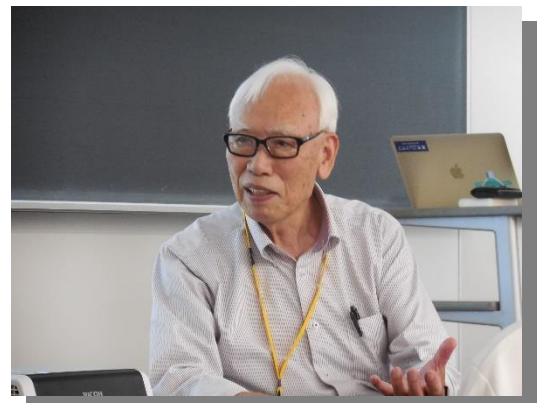
⇒ 解決策：異変・発熱を感知・通知する肌着を開発し販売する。

課題：(認知症の方向け)面識のある人と会ったにもかかわらず、誰か思い出せない。

⇒ 解決策：顔から人物を認識し、名前を表示する眼鏡を開発し販売する。



■ 河合塾が行う教育支援活動を紹介



■ 「大きな夢を実現させる秘訣」を講演



■ メンバーの役割と責任を学ぶ



■ 社会課題と解決策を議論

■ ゲストプロフィール

● 曾我 弘(Hiromu Soga)

一般社団法人 カピオンエデュケーション 理事長。
1991～2010年、アメリカ シリコンバレーにてベンチャー企業を設立、経営。2001年には同社をAppleへ売却。現在は、スタートアップ企業支援と日米間のオープンイノベーションをめざし、NEDO、総務省、日本総合研究所等とともに活動する。また、2012年から慶応大学リーディング大学院で起業講座を担当する。



● 能登左知(Sachi Noto)

一般社団法人 カピオンエデュケーション 理事。
インキュベーションマネージャーとしての豊富な経験から、数多くのプレゼンテーションの講師として活動中。



■ 参加者の声（※アンケートより抜粋）

- ・日常の中にたくさんある困っていることの解決策を考えるのが思っていたよりも難しかったので、これからの日々の中でやってみようと思いました。
- ・「ニーズを考える」ということについて学びました。最後にやっとsolutionを見出せたときは、大きな達成感を味わえました。周りを見る目が今日から変わりそうな気がします。この経験を将来の夢に役立てていきたいです。
- ・最初の問題提起の解決策はビジネスにはつなげられなかったが、新しい問題提起をすることで少しビジネスにつなげることができました。先生もおっしゃっていたのですが、行動することが重要だと思いました。
- ・チームでの役割を決めて話し合いをすると話し合いやすかった。考える時間を短く、行動するのを速くしようと思う。

ご参加いただいた方々、その他イベントに関しご協力をいただいた皆様に、改めて御礼を申し上げます。

河合塾 カンボジア教育支援活動一同